

## お試し改憲!?

# 危険な「緊急事態条項」の新設

「解釈改憲」で安全保障関連法を成立させた安倍政権が、今度は「明文改憲」を狙い、憲法に「緊急事態条項」を新設しようとしています。この「緊急事態条項」の新設は、「とりあえず、お試し改憲」などと喧伝されていますが、とんでもない話です。「緊急事態条項」は、憲法9条の改定に向けた突破口というだけにとどまらず、それ自体が非常に危険な内容を持つものです。

### 「緊急事態」条項＝「戒厳令」!

自民党は、2011年の東日本大震災を契機に、「憲法に緊急事態条項がないのは欠陥だ」として、翌12年にまとめた「日本国憲法改正草案」に「緊急事態」条項を具体化しています。そこには、「内閣総理大臣は、外部からの武力攻撃(＝日本有事)や内乱などの社会秩序の混乱、大規模自然災害の際に、緊急事態の宣言ができ、法律と同一の効力を有する政令を制定することができ、地方自治体への指示ができ、国民は国その他の機関の指示に従わなければならない(＝基本的人権の制限ができる)」とあります。これは、戒厳令そのものです。

### 「緊急事態」は現行法で十分対応可能

自民党など改憲派は、昨年11月にパリで発生した同時多発テロの際に非常事態宣言が発令されたのを奇貨として、災害やテロを理由にすれば、緊急事態条項新設についての国民の理解が得やすいと判断したのだと思います。しかし、そもそも非常事態に対しては、憲法ではなく、法律で対応すべきです。現に、災害については、すでに災害対策基本法が存在します。

### 首相の権限は強化、国民の権利は制限!

確かに今、私たちは災害やテロなどへの「不安」を感じています。しかし、だからといって、「非常事態」にばかり注目して、首相の権限強化や国民の権利制限という「緊急事態条項」新設による危険性を見落としてはなりません。それを許せば、次は9条の改定であることは明白です。安全保障関連法廃止のたたかいと一体に、「緊急事態条項」新設の企てを許さないとりくみをすすめることが大切ではないでしょうか。



## 渡辺礼一さん追悼 宮沢勝之早春コンサート開催

1月17日(日)、宮沢勝之コンサートを大塚秀子さんと聴きにいった。(東京労音主催、竹ノ塚地域学習センター)。かなり不便な所で3回も乗り継ぎ、東武伊勢崎線竹ノ塚駅下車で降りていく場所にあった。会場の300席は、主に中年の女性で占められ満杯であった。私は宮沢さんのコンサートをこれまで3回聴いてきたが、このように大勢のコンサートは初めてであった。

### 観客席は手拍子と熱気で一杯

コンサートの中身は、宮沢さん独特の心ゆくまでのユーモアあふれるトークと数多くのシンガーソング。そして、国会議事堂前に沸き起こる若者たちシールズの「九条マ・モ・レ!」「戦争ハン・タイ!」の声の録音を背景に宮沢さんの『いのちたちの詩』と平和ミュージック。

観客席は手拍子と合唱で熱を帯びる中、大成功の内に幕を閉じた。宮沢さんは最後のあいさつで、「僕の唄がもっと人と人の心をつなぐ架け橋となって勇気・元気を共にできる素晴らしいものにしていきたい。命の尊さと平和の願いを込め唄い続けます。」と結んだ。

### 渡辺さんの願いをかなえたい

おがわ町九条の会代表のお一人の渡辺礼一さんが逝去されてまもなく1年が経ちます。渡辺さんの追悼を兼ね、『宮沢勝之早春コンサート』を開催します。生前、渡辺さんは「宮沢さんのコンサートを小川町で公演したい。」と言われていました。心して成功させねば、と思う今日このごろです。

富田和朗 (朗負)



## 宮沢勝之早春コンサート

日時:3月6日(日)

午後2時開演

会場:パトリアおがわ・ホール

料金:¥2,000(前売り)

¥2,500(当日)

渡辺さんの想いを引き継いで、何よりも平和を愛し続けた渡辺さんの志を私たちが確かに受け継ぐために、このコンサートに取り組みます。

実行委員・連絡先 0493-74-1138(渡辺) 73-0291(富田)

### 『戦場ぬめし』上映会の報告とお礼

入場者は230名となり、おおくの方から、「私たちに代わって戦っている沖縄のリアルな現状を受け止め、沖縄の心が伝わり涙した。」「多くの人に伝えたい」「アベ政治は許せない」等の感想を頂き上映の喜びを感じました。上映収益金と会場で頂いたカンパは辺野古の戦いを支援する辺野古基金に送る予定です。

## リレーメッセージ



「聞いて!聞いて!私の声」・・・「おがわ町九条の会」では町のみなさんのいろいろな声を集めてゆきます。「九条へのおもい」「平和への願い」「現状への不平・不満」などなど、みんなに聞いてもらいたいことを、どうか事務局までお届けください(匿名でも結構です)。今回、3人の方々のご協力をいただきました。ありがとうございました。

許さず  
アベノ  
政治を

### 『だまされた』ということ

鈴木一衛 (奈良梨)

私は今から10年前、「小川町議会だより」の『わたしのひとこと』欄に、次のような駄文を投稿した。「昭和30年頃の地元の盛大な村祭りでは、子ども心にも『戦争はもうこりごりだ』という思いがしっかりと感じられた。子ども時代はテレビもお金もなかったけれど本当に楽しかった。・・・」そして、「安心して暮らせる平和な社会、住んで良かったと思える小川町を子どもたちに残すことは、大人の責務だ。歴史の歯車を逆に回すことのないように、議会もその責任をしっかりと担っていただきたい。」と結んだ。

#### だまされること自体が悪

それからわずか10年、今どうでしょうか。憲法を守ろうという人は守旧派と呼ばれ、特定機密法OK、武器輸出のなし崩し緩和OK、集団自衛権行使OK等々、惨憺たる状況であります。

敗戦後間もない頃に映画監督の伊丹万作さんが書き残した次の言葉がよく引用されます。

『だまされた。』とは、不正者によって被害を受けたことを意味するが、しかし、「だまされた者が正しかった」とは、古来いかなる辞書にも決して書かれてはいないのである。『だまされた。』と言え、一切の責任から解放され、無条件で正義派になれると勘違いしている人は、もういちど顔を洗い直さなければならない。／『だまされた。』という言葉が持つ便利な効果に溺れ、一切の責任から解放された気である多くの安易極まる態度を見る時、私は日本国民の将来に対する不安を感じざるを得ない。／『だまされていた。』と言って平気でいられる国民なら、おそらく今後も何度でもだまされるだろう。いや、現在でもすでに別のうそによってだまされ始めているに違いないのである。」

(1946年8月「映画春秋」～戦争と責任の問題)

伊丹万作さんは、「戦争責任は、だまされること自体が悪だ。」と批判し、反省したのでした。みなさんは、いかがお考えでしょうか。

### 動物に学ぶ

タミーズファーム 岩崎民江 (角山)

昨年8月、首輪をつけられたままの猫を拾いました。片目が半分つぶれ、慢性鼻炎らしく鼻水たらたらでやせこけていましたが、うちの犬にすり寄っていきました。うちの犬は驚いて最初は吠えましたが、怖がりもせず鼻をなめる猫に半ばあきらめたのか、一緒に水を飲み、エサをとられても怒りもせず寄り添って眠ったりしました。

この猫の気だての良さは抜群で、ノラ猫が敵意むき出しでうなづいても、のんびりと近寄ってペタリと座り込み、そのうち二匹で仲よく日向ぼっこの風情です。そして自分のエサをわけてあげ、ノラ猫が食べ終わるまで追いたたりせず、家族のように仲良くしています。

このように、猫や犬でさえ分かち合うことを知っているのに、人間の欲望の果てしなさは恥ずかしいばかりです。憲法9条の理念が、現実世界に反映されることを心より願っています。



## \*3.11 福島原発事故を忘れない!

# 第2回さようなら原発@北埼玉の集い

☆福島原発事故は5年目の「3.11」を迎えるというのに復興とは程遠い状況です。故郷を追われた10万人以上の被害者は今なお避難生活を余儀なくされ、帰還も生活再建の目途も立っていません。こうした状況にもかかわらず、安倍政権と電力会社は鹿児島県川内原発、福井県高浜原発3号機に続き、愛媛県の伊方原発を再稼働させようとしています。

☆昨年に引き続き、今年も「さようなら原発@北埼玉の集い」(同実行委員会主催)が開催されます。私たち「おがわ町九条の会」は、原発再稼働とその輸出に反対し、原発ゼロをめざす運動をともにすすめるために、積極的に参加することを呼びかけます。



この「つどい」は、趣旨に賛同していただける個人、団体のカンパによって賄われます。カンパは個人または一家族から500円をいただき、お名前をチラシに掲載させていただきます。郵便局口座に振り込んでいただいてもけっこうです。店名0三八 店番038 種目普通 口座番号8144931 名義「さようなら原発@北埼玉の集い実行委員会」

#### 嵐山町九条の会からのご案内

慶応義塾大学教授  
**金子 勝氏講演会**  
日時: 3月30日(水) 午後6時30分開演  
場所: 国立女性教育会館(又1ツク)  
定員: 150名 料金: 500円  
主催: 金子勝講演会実行委員会  
お問合せ・申し込み 090-6169-4286 (名里)

